

第2次泉大津市教育振興基本計画（素案）に対する市民等の意見・提案と市教育委員会の考え方（パブリックコメント）

- 1 募集期間：令和6年12月2日（月）～令和7年1月10日（金）
- 2 募集方法：郵送、ファックス、電子メール又は教育政策課へ持参（また、市内公共施設等に意見募集箱を設置）
- 3 提出人数：4人
- 4 提出意見：4件
- 5 意見・提言及び市教育委員会の考え方

※固有の団体名については【※】と表記しています。

| No. | 意見・提言 | 市教育委員会の考え方 |
|-----|---|---|
| 1 | <p>発達障害児やグレーゾーンについての勉強会や講演会を教員、保護者向け、子ども達には授業として小学校低学年、高学年、中学校と定期的にでも行って欲しい！せっかく泉大津には、【※】があるので上手く活用すれば良いと思います。かなりしっかり活動しているので、専門機関の先生方などの繋がりを持っているので！その他企業としてはリタリコなど。高学年や中学生くらいなら、個々で生きにくさを感じてる子などもいるはず、発達障害についての知識を知る事により、僕、私ってもしかしたら、と気付けたりこの特性があるからしどかつたんだなどがわかり、生きにくさや不登校になる前に解決策に繋がったりがあると思う。今はネットやSNSなどで間違った・偏った情報がありすぎてるので正しい知識が入らない。</p> <p>教員に対しては知識のなさすぎを実感！ちなみに現在の担任は知ろうと勉強をしてくれたりの行動がみえるが個々がネットで調べてのレベルでは、日々の仕事も忙しいので支援の仕方などまで辿り着かなかつたり、他の先生方の認識の違いがありすぎて…きちんと学習出来る機会を！</p> <p>後、幼小の間のフォロー機関は増えて来</p> | <p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>計画表面に本計画を推進するうえでの方針に基づく重点的な施策を記載し、裏面にはその重点施策に紐づく取組の一つとして、「個別支援（方針1・施策（1）、方針2・施策（2））」に「一人ひとりの子どもの特性や成長を見通した支援のサポートができる体制の強化」について記載しています。</p> <p>現在、各校では、発達上の悩みについて、専門性のある教員に相談したり、連携する専門職に相談したりする体制を整えており、必要に応じて連携する団体を紹介することもできます。また、市内では教育支援センターの相談員や児童発達支援センター等の専門職に相談する体制も整備しております。こども・保護者に対して寄り添う相談支援について、今後も推進していくと考えております。</p> <p>また、ご意見をいただいたリタリコなど、「特別支援教育補助ツール」についても本計画に記載しており、それらを活用しながら、多様な子どもたちの理解や特性に応じた支援を検討する際のサポートができる体制の強化に努めます。</p> |

| | | |
|---|---|--|
| | <p>ているが、中高生が自ら生きにくさを感じた時相談出来る機関や保護者のフォロー機関を！みんなが正しい知識を知ることがとても大切でそれによりみんなが安心して楽しく優しい気持ちを持って暮らせる街が出来ると思います。</p> | |
| 2 | <p>泉大津市の小・中学校には発達障害のことが分かる専門家がほとんどいません。そのような状況の中、全国的に活動している、【※】という団体が泉大津を拠点に活動されています。学校でも、こちらの代表の方に相談ができる機会（座談会や相談会など）をぜひ作ってほしいと思っております。</p> | |
| 3 | <p>現在、泉大津市内の各校には、発達障がいの専門家が皆無です。発達障がいは7人に1人の割合で存在する脳の特性です。そのことを踏まえ、発達障害のお子さんをもった親御さんが学校で相談できる機会を設けてもらいたいです。【※】はそんな悩める親御さんの相談を個別におこなっている現状です。そのため、そのような相談を学校内で受けられるよう整備をしていただきたいです。</p> <p>私には発達障害と診断された二人の娘がいます。娘は成人していますが、いまだに自分の特性をどのように社会に適合していくのかを自問自答しながら私も支えながら生活をしています。私はその二人の母として、気づいたことや環境整備の大切さを文章で発信することもしています。個別の力では微々たるものですので、今回このような提案を思い立ちました。</p> | |
| 4 | <p>各小学校、中学校に、支援の相談窓口として【※】を置いていただきたいです。</p> <p>我が家は長男はもう成人になりましたが、小学校、中学校と支援級に在籍でし</p> | |

た。当時の私は子供の発達障害の理解から程遠く、特性から真逆の育児になっていました。学校やかかりつけ病院もそうだったと思います、いかに健常児に追いつかが課題でした。そして長男が成長した思春期のころに問題行動が起り、大変困りました。そのころは泉大津市に、発達支援に特化した専門機関はありませんでした。2次障害に関して市民病院も何もできることがなく、私は遠方にある相談機関へ助言を求め、乗り越えたのです。ただ幼い兄弟もいたため、遠方の相談機関へは度々行くことができませんでした。そしてしばらくして【※】と繋がることができました。自己理解の大切さを教えてもらい、私自身も子どもへのアプローチを、子供の特性に沿った内容へ少しずつ変えていき、子ども自身も自分に自信を持つようになっていきました。

【※】からは、今現在、長男を支えてくれる支援者さんや障害特性に詳しい事業所を紹介していただき、自立に向けて、少しずつですが歩んでいます。もっと早くから出会っていれば…と思います。何より、子ども自身、毎日を楽しむことができたのかかもしれません。

ぜひ学校の支援相談窓口として、置いてほしいです。学校にそんな環境があれば、保護者も足を運びやすいと思うのです。専門機関と保護者の知識があれば、子どもも安心して過ごせます。前向きな検討を、どうぞよろしくお願ひいたします。